

## 研修プログラム認定委員会よりのご報告

平成 29 年度 研修プログラム統括責任者連絡会議（東京会場）報告記

にしわき ゆうじ  
 西脇 祐司

東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野



平成 30 年 1 月 24 日水曜日の午後、台東保健所の大会議室をお借りして、研修プログラム統括責任者連絡会議（東京会場）が開催されました。これは、平成 29 年末に大阪会場で行われたものに引き続き実施されたものです。この会議には 33 のプログラムが参加され、参加者総数 54 名でありました。



協会副理事長である今中雄一先生よりご挨拶をいただいた後、指名発表として 3 つのプログラムをご紹介いただきました。トップバッターは、「東京医科大学を基幹施設とする社会医学系専門医研修プログラム（認定番号 40）」から、井上茂先生のご発表です。2 番目は、矢内真理子先生より「TOKYO プログラム（認定番号 46）」を、3 番目に渡邊能行先生より、「京都プログラム（認定番号 3）」の御紹介を頂きました。お一人 10 分程度の短い発表時間にもかかわらず、それぞれのプログラムの力点や課題をわかりやすくご報告いただき、のちのグループワークでの議論の良いたたき台となりました。発表後の質疑では、基本プログラムの実施情報はどこで得られるか、プログラムのことで困った時の問い合わせ窓口の設置が必要ではないか、行政機関の複数プ

ログラムによる共用は可能か、副分野研修時の時間・費用は自己負担か、専攻医の修了判定の基準をわかりやすく提示できないか、指導医を数名のグループとし、グループでより多くの専攻医の指導ができるようにすることはできないか、等々非常に多くの課題が議論されました。

後半は、グループワークです。6 つのグループは地域の枠を超え、また行政、大学、職域が偏らないように、さらに、すでに専攻医がいるプログラムいないプログラムが混在するように編成されています。プログラム認定委員会の先生方が各グループにファシリテーターとして参加し、議論を誘導してくれました。40 分程度の時間でしたが、各グループ活発な議論がなされていました。そして、各グループより代表者に出ていただき、議論内容をご報告いただきました。ホワイトボード（どこでもシート）への手書き（なぐり書き？）情報に基づくご発表は、アナログ感があり、暖かみがありました。ここでもたくさんの質疑応答がありましたが、共通してきかれたご意見として、専攻医の確保の問題、専門医を



取得することのメリット、社会医学系の意義・価値を学生に伝える必要性、副分野研修の位置づけ、などがありました。「レジナビ(学生向け、研修医向け)」にブースをだして社会医学系専門医の紹介をするのはどうか、大学の教員任用時の望ましい条件として社会医学系専門医(指導医)資格を有しているこ



とを入れてはどうか、という積極的なご意見もありました。そうこうしているうちに、本来指名発表をお願いしていた「ご縁の国しまねプログラム(認定番号2)」の谷口栄作先生が雪のための遅延にもめげず滑り込みセーフで到着され、予定通りプログラムの御紹介を頂きました。

最後に、森晃爾研修プログラム認定委員会委員長が会を総括されました。その中にもありましたが、本専門医制度は立ち上がったばかりなのでまだまだ課題も多くあるものの、皆で知恵を出し合って前向きに進めていくことの重要性を改めて感じた次第です。平日の午後という制約に関わらず多数の参加があり、新しい出会いや疑問点の解消、今後の課題の確認などにおいて、たいへん意義深い会であったと思います。末筆になりましたが、ご多忙の中もろもろ準備いただいた協会事務の中尾様に感謝申し上げます。

## 今月のお知らせ

※ **基本プログラムのご案内(判明分)** ★eLearningについては制度が整い次第ご連絡いたします。

学会名	日本衛生学会
タイトル	社会医学系専門医制度 基本プログラム「行動科学」
日時	2018年3月22日(木) 10:00-17:00 ※学術総会事務局には問い合わせしないでください。
場所	東京: 東京工科大学 浦田キャンパス 3号館 2階の講義室
備考	本プログラムは、社会医学系専門医協会が主催し、日本衛生学会が共催するものです。社会医学系専門医制度の単位の一部となるものですが、どなたでも受講できます。受講希望の方は、3月9日(金)までに、参加申込書を社会医学系専門医協会事務局までメールにてご提出ください。
学会名	日本衛生学会

学会名	日本産業衛生学会
タイトル	社会医学系専門医制度 基本プログラム「環境・産業保健」
日時	2018年5月16日(水) 9:25-17:30 (第91回日本産業衛生学会 初日) ※学術総会事務局には問い合わせしないでください。
場所	熊本県熊本市: くまもと県民交流会館パレア 会議室1 受講申し込みは、こちらから Web 登録してください。Web 登録にアクセスできない場合は、当日、会場での受講の申し込みも可能です。
備考	問い合わせ先: 日本産業衛生学会専門医制度事務局 sanei-senmoni@mbox.med.uoeh-u.ac.jp スパムメール防止のため、"@"は画像となっております。送信の際は"@"を直接入力してください。
学会名	日本産業衛生学会


**※ 指導医講習会のご案内 (判明分)**

学 会 名 日本衛生学会  
 タイトル 第 88 回日本衛生学会学術総会 シンポジウム 16:「社会医学教育 (仮)」  
 日 時 2018 年 3 月 24 日 (土) 13:00-15:00  
 場 所 東京:東京工科大学 蒲田キャンパス 第 1 会場 (3 号館地下大講義室)  
 U R L <http://www.jsh88.umin.ne.jp/>

学 会 名 日本産業衛生学会  
 タイトル 第 91 回日本産業衛生学会総会  
 社会医学系専門医指導者講習会「更新条件について (仮)」  
 日 時 2018 年 5 月 17 日 (木) 15:50-16:50 (60 分)  
 場 所 熊本:熊本市 鶴屋ホール 7Fカーネーションサロン (I 会場)

団 体 名 全国保健所長会  
 タイトル 東京ブロック指導医講習会「社会医学系専門医・指導医の更新ルールについて」  
 日 時 2018 年 5 月 17 日 (木) 16:30-17:30  
 場 所 東京:新宿区立角筈地域センター7 階会議室  
 申 込 先 問合せ先 豊島区池袋保健所 佐藤保健所長  
 FAX: 03-3987-4110  
 MAIL: [toshiko-02-satou@city.toshima.lg.jp](mailto:toshiko-02-satou@city.toshima.lg.jp)  
 申込締切 2018 年 5 月 14 日 (月)  
 備 考 指導医講習会とみなします。

**社会医学系専門医・指導医の更新ルールについて**

社会医学系専門医協会 WEB からの転載

**1. 更新の基本的な考え方**

専門医・指導医の更新にあたっては、5 年間中断無く継続して、社会医学系の専門的な活動を行い、自らの能力・技術の研鑽及び社会医学系分野の発展への貢献に励んでいることを基本的な要件とし、

- 社会医学系分野での勤務実績の申告
- 社会医学系分野での活動実績の申告
- 社会医学系分野に関連する講習の受講<単位(クレジット)制>
- 社会医学系分野に関連する学会・団体活動の実績等の証明

&lt;単位(クレジット)制&gt;

をもって行う。

社会医学系分野での活動実績については、5 年間で、後の項で示す 6 項目の活動のうち、2 項目以上での活動実績を必須とする。

講習の受講については、社会医学系分野に関する最新の知識や技術等の取得を目指し、継続的に能力の向上を図ることを目的とするもので、講習会等の 1 受講を 1 単位(クレジット)として、後の項で示す必須受講項目及び選択受講項目と合わせ、5 年間で 10 単位以上の取得を必須とする。ただし、上記の講習の受講において、指導医については協会指定の指導医講習会の受講(5 年間で 2 回以上)が必要である。なお、経過措置専門医については基本プログラム(49 単位)の履修も必要とする。

また、基本プログラムの一部の科目の受講は経過措置指導医にも望まれるが、必須ではない。

学会・団体活動の実績等については、学会の年次総会等へ参加しての発表や講演、学会誌等への論文掲載など、社会医学系分野における能動的な貢献を評価することを目的とするもので、5 年間で、協会の構成学会の年次総会等に 3 回以上参加するものとし、そのうち、鍵となる協会構成学会等の年次総会には 2 回以上の参加を必須とするとともに、後の項で示す学会・団体活動等について 10 単位以上の取得を必須とする。

なお、社会医学系の専門的活動を認定期間に継続していることが更新の前提となる。また、更新にあたっては、5 年間中断無く継続して一般社団法人社会医学系専門医協会(以下「協会」)の年間登録料を納めて登録を維持していること及び協会の構成学会の会員であることを前提とする。

**2. 更新に係る申請と評価項目**

認定の更新にあたっては、以下の①から⑤が必要となる。

- ①認定更新申請 (⇒申請には提出が必要)
- ②社会医学系分野での勤務実績  
認定の更新は、5 年間継続して社会医学系の活動を行っていることが前提となるので、その基礎資料となる。
- ③社会医学系分野での活動実績  
5 項目のうち、2 項目以上の 5 年間継続的活動が必要

- ④社会医学系分野に関連する講習の受講  
5年間で必須講習を含めて10単位以上の受講が必要。
- ⑤社会医学系分野に関連する学会・団体活動の実績等  
5年間で10単位以上の受講が必要。

の委員など

(社会医学系専門医協会活動への参画)

協会主催講習会(基本プログラム、指導医講習会等)の講師、協会設置の委員会委員としての活動、理事としての活動など

以下に、①から⑤について説明する。

### ① 認定更新申請

第1号様式に従い、「社会医学系専門医・指導医認定更新申請書」を記載する。

### ② 社会医学系分野での勤務実績

第2号様式に従い、「勤務実績の自己申告」の記載(ワープロ可)をすること。なお、申告が実態と一致しているか否かについて勤務実態を検証することがあるので、留意のこと。

### ③ 社会医学系分野での活動実績

第3号様式に沿って、5年間の期間中について、社会医学系分野での下記の(1)~(6)の6項目の活動の有無とその概要を記載すること。

社会医学系の専門的活動を認定期間に継続していることが更新の前提となり、6項目のうち、少なくとも2項目での5年間の継続的な活動(別途規則に沿って病欠、産休などの例外は認める)を必須とする。

#### (1) 教育・研究活動

(大学等での教育活動)

大学や専門学校等での人材育成や講義。担当授業科目名や授業時間、市民公開講座や各種の研修会・学会・研究会等の教育講演等の講師歴など

(研究活動)

研究テーマ、研究報告書の概要、研究資金獲得状況など

#### (2) 産業保健活動

担当事業所名、作業環境管理・作業管理・健康管理、労働衛生教育・統括管理の実績など

#### (3) 行政関連活動

担当行政分野名、行政機関主催の会議やイベント出席、行政機関設置の委員会や検討会等での委員歴など

#### (4) 医療管理関連活動

医療管理・病院管理、医療情報システム開発や運用管理、医療安全管理に係る実績など

#### (5) 災害時・健康危機管理対応

災害被災地での活動内容、防災訓練への参加、感染症のアウトブレイクや食中毒への対応など

#### (6) 社会医学系専門医制度における専攻医の専門研修及び制度発展に係る実績

(専攻医の研修への参画)

専攻医の担当指導医の実績、専門研修プログラムの連携施設・協力施設での研修協力、専門研修プログラム管理委員会

### ③ 社会医学系分野に関連する講習の受講

講習の受講は、社会医学系分野に関する最新の知識や技術等の取得を目指し、継続的に能力の向上を図ることを目的とするものである。講習会等の1コマ(約1~2時間)1受講を1単位(クレジット)として、下記の必須受講項目及び選択受講項目と合わせ、5年間で10単位以上の取得を必須とする。

(※下記の⑤の10単位とは独立して、別途④の10単位が必要であることに留意すること。)

#### (1) 必須受講項目

(倫理・安全等)

医師として必要な知識や態度(人間性や社会性を含む)を扱う講習のうち、「医療倫理」「感染対策」「医療安全」の3項目は5年間に受講を必修とする。(臨床系専門医制度で「共通講習」として位置づけられているものでも可。受講においてはeラーニングや施設内講習なども認める。)

(指導医講習会)

指導医の更新に関しては、協会または構成学会・団体が主催「指導医講習会」の5年間で2回以上の受講を必須とする。毎年1回の受講を推奨する。(指導医講習会に専門医が参加した際には、選択受講科目としてカウントする。)

#### (2) 選択受講項目

選択受講項目は、協会加盟の学会及び団体が指定する研修会、講習会、セミナー、年次総会時の教育講演等の受講とする。

また、対象となる研修会等の一覧は、協会加盟の学会や団体のHPで確認できるようにする予定。(協会のHPからも、協会加盟の学会や団体のHPにリンクをはる予定。)協会が主催するeラーニングの受講も含む。

なお、受講証明書(コピー可)を第4号様式に貼付して、提出すること。

### ⑤社会医学系分野に関連する学会・団体活動の実績等

学会・団体活動の実績等は、学会の年次総会等へ参加しての発表や講演、学会誌等への論文掲載など、社会医学系分野における能動的な貢献を評価することを目的とするもので、学会等への参加を必須とし、下記に示すものの参加や発表などについて、5年間で10単位以上の取得を必須とする。

(※上記の④の10単位とは独立して、別途⑤の10単位が必要であることに留意すること。)

#### (1) 会等への参加(必須事項)

5年間で、協会の構成学会の年次総会や構成団体の研究協議会等に3回以上参加するものとし、そのうち、鍵となる協会構成学会の年次総会には2回以上の参加を必須とする。

なお、協会の構成学会の年次総会や構成団体の研究協議会等には、行政機関の主催する全国会議等も含む。

**(2) 学会・団体活動等の実績の単位(クレジット)**

鍵となる協会の構成学会の年次総会への参加	1 回につき 2 単位
協会の構成団体の研究協議会等への参加	1 回につき 1 単位
鍵でない協会の構成学会の年次総会への参加	1 回につき 1 単位
協会の構成学会の論文筆頭著者	1 件につき 3 単位
協会の構成学会の論文共同著者	1 件につき 1 単位
協会の構成学会の年次総会特別講演・教育講演等	1 回につき 1 単位
協会の構成学会の年次総会シンポジスト・座長	

協会の構成学会の年次総会一般演題筆頭演者	1 回につき 1 単位
協会の構成学会の年次総会一般演題共同演者	1 回につき 0.5 単位
協会の構成学会や団体の役員、委員会委員等	1 年につき 1 単位
行政機関設置の審議会、検討会等の委員等	1 年につき 2 単位
行政機関主催の会議等への、説明担当等の役割を有する参加	1 回につき 1 単位
社会医学系の論文筆頭著者	1 件につき 1 単位
社会医学系の論文共同著者	1 件につき 0.5 単位

**社会医学系専門医協会紀行-2-**

おおつき たけみ  
 広報担当：大槻 剛巳  
 川崎医科大学衛生学



社会医学系専門医協会は2016年12月に一般社団法人として産声を上げましたので、満1歳の誕生日も過ぎて、4月からは



2年目に突入です。

主な会議は、事務局があります新宿一丁目の公衛ビルで行われます。最寄り駅は東京メトロ丸の内線の「新宿御苑前」駅です。そう、公衛ビルの反対側にぶらっと歩を進めますと新宿御苑があります。私は、時々会議の前後に、ちょっとだけ時間の

余裕を作って、偶には新宿御苑の散策をしてみたりしています。

去年の3月下旬の理事会の後の新宿御苑は、大木戸門の前に桜が咲いていたり、モクレンが咲いていたりしました。今年の冬は一段と寒さが厳しく、北陸、東北そして北海道では、降雪に伴う日常生活への影響の報道が多く伝わってきていました。それでも弥生三月、少しずつ春が近付いてくるのだろうと楽し



みにしています。

今月21日は、理事会が予定されています。私はそのまま翌日からの第88回日本衛生学会@東京工科大学(蒲田)に突入ですが、そこでも基本プログラムや講習会も設けられます。

多くの先生方にお会いできることを期待しながら、春爛漫には少し早いかも知れませんが、ぶらぶらと散策できる季節を楽しめればと思っています。